

2019年度 図書館活用推進校の事業の取組

新潟市立東石山中学校

1 東石山中学校図書館と生徒の実態

生徒数等

- ・ 18学級、生徒数483名。

図書館の位置

- ・ 図書館は教室棟からはやや離れているが、2階に位置しているため、比較的足を運びやすい。

蔵書

- ・ 蔵書は16,539冊で基準を満たしている。

図書館利用

- ・ 昼休みは、体育館使用が学年指定されていることもあり、生徒がよく図書館を利用する。平成30年度は、生徒入館者数3,674人（1日平均20人）、図書の貸し出し数9,254冊（1人平均18.89冊）。
- ・ 学年が進むにつれて入館者数が減り、利用する生徒が固定化する。

読書環境他

- ・ 毎日、朝読書の時間が15分間設定されており、読書の習慣がついている生徒が多い。
- ・ 教科学習での利用が少ない。
- ・ 読む図書のジャンルが固定化している生徒がほとんどである。

図書委員会

- ・ 図書委員会の企画等に積極的に参加する生徒が多い。

その他

- ・ 新聞も閲覧できるようにしているが、手に取る生徒は少ない。

2 学校図書館活用推進の目標

「1」の実態から、課題を次の2点に絞った。

- ① 探究的な学習での図書館利用が少ない。
- ② 図書館を利用したり、読書に親しんだりする生徒が比較的多いが、手に取る図書のジャンルが固定化している。



そこで、今年度は「学校図書館活用推進」のために、以下の2点に重点を置き、実践を進めることにした。

- 学習センター、情報センターとしての利用を促進する。
- 読書活動をさらに充実させる。

3 方策及び実践事項

学習センター、情報センターとしての利用を促進するために

- 教科の学習に資する資料の収集と適切な廃棄を行う。
- 授業で図書館資料を活用し、適切な資料の検索方法や使い方を指導する。
- 公共図書館と連携し、資料の充実を図る。
- 司書と教科担任の連携を密にし、図書館を使った調べ学習を推進する。
 - ・ 各教科の1単元、あるいは1教材（以上）で図書館を使った調べ学習を実施する。
 - ① 教科主任より、必要な図書のジャンル、冊数、時期を書き出してもらう。
 - ② 学習が予定されている1か月前に、司書が教科主任に声をかけ、資料を用意する。
 - ③ 教科担当は、図書館を利用した調べ学習を実施したり、授業の際、「図書館に資料があるので、ぜひ利用するように」ということを生徒に伝えたりする。
 - ・ 職員室にレファレンスシートと図書館月間利用予定表を設置する。

1年理科 夏休み課題の題材探し



1年音楽 「魔王」関連資料



1年国語 発展学習



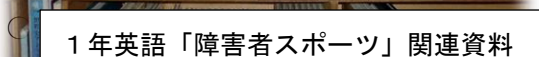
2年国語「ギヴァー」
を使ったりテラチャー
ーサークル



2年英語「自分の好きな国を紹介しよう」



1年英語「障害者スポーツ」関連資料



2年技術「エネルギー変換」関連資料



- ・ 季節感のある装飾などを工夫し、魅力ある図書館作りに努める。



七夕飾り



昼休み限定
「本のミニかご」



図書委員によるPOP



クリスマス関連図書

- ・ 時事に関する資料（関連図書・新聞の切り抜き等）を掲示・展示する。
- ・ 「朝日中高生新聞」のコーナーを設置する。



新元号は「令和」



「ノートルダム寺院の火災」



「朝日中高生新聞」コーナー

- ・ 学校行事に関する資料を展示する。（創立40周年記念など）



生徒会誌を創刊号から展示

大盛況。父母の記事
を見つけた生徒も。



本の紹介を書いて
「創立40周年記念
の木」を育てました。

- ・ 夏休みの学習場所として図書館を開放する。

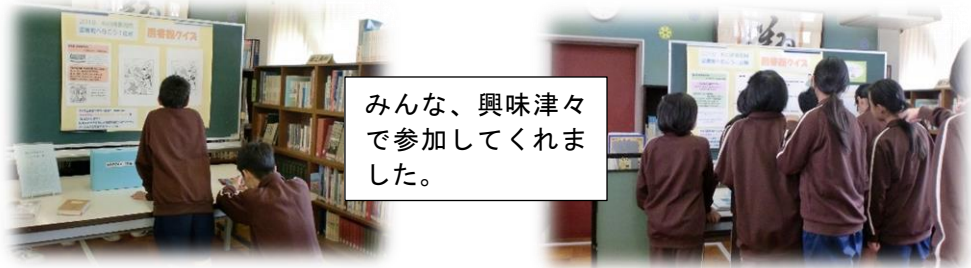


読書活動の



「夏休みの生活表」にも開館日を
記載したことで、読書や学習に足
を運んでくれました。

- 生徒の興味関心を引く図書と読ませたい図書をバランスよく収集する。
- さまざまなジャンルの本や新聞記事に触れさせる。
 - ・ 教職員に中学生に読ませたい新聞記事を紹介してもらい、朝読書の時間に読ませる。
 - ・ 図書委員会の活動を充実させる。
 - ※ 教職員の推薦図書を昼食時の「図書館アワー」の放送で紹介したり、図書館にコーナーを作って展示したりする。
 - ※ 読書週間で「図書館クイズ」を実施し、正解した生徒に抽選で創立40周年記念デザインのおしおりを進呈する。



みんな、興味津々で参加してくれました。

- ※ 読書週間で生徒からのお薦めの本をPOPをつけて展示したり、「本の福袋」を作ったりする。



職員の推薦図書紹介

生徒のお薦めの本は大人気。

読書週間中は図書館大混雑。

- ・ 学級文庫を配架し、朝読書に利用する。他、七夕飾りや百人一首大会は例年通り。
- 小学校図書館との連携により、小学校からの読書習慣を中学校でも継続できるよう配慮する。
- 図書館ボランティアの受け入れ（年3回、除籍・蔵書点検等）

4 成果と課題

- ① 司書と教員の連携が進み、授業の中で図書館を利用する頻度が増した。特に、年間計画に沿って司書が積極的に資料を準備することで、利用が促進された。
- ② 「新聞」を手にとらせるのは難題であったが、朝読書で、さまざまなジャンルの記事をまとめたものを準備すると、興味をもって目を通した。読ませる機会と時間を保証することが大切だと感じた。
- ③ 今年度は、全職員に「探究学習＝図書館」という意識をもってもらい、さまざまな面で協力してもらった。図書館活用を推進するためにはそのことが最も有効であったと感じている。しかし、「継続」していくことは簡単ではない。これからも学校図書館から、生徒はもちろん、職員にも情報を発信し続け、今年度生まれた良い流れを途切らせることなく継続していきたい。